

最優秀賞

おかあさんへのプレゼント

神奈川県 湘南白百合学園小学校二年 若月 真緒

四月のおわりにまちを歩いていると、ははの日のお知らせのポスターを見つけました。

もうすぐははの日なんだなあとわたしは思い、今年は何なことをしようかなと考えているとたのしいアイデアを思いつきました。

それは、今年はじ分のおこづかいでお花をプレゼントしたいと思ったことです。

どうしてかという、いつもはお手紙だけで、ほかになにかできることはないかなと思っていたことと、おかあさんにいつもよりよろこんでもらいたかったからです。

まずは、おかあさんにははの日のけいかくをせつたいにひみつにしたかったので、お花やさんへ行くのはとう日にしようときめて、先に手紙のじゅんびをすすめました。いつもありがとうの気もちを言はべつたえたかったからです。ばんごはんの時などに、

ははの日の話しをしないようにすることがとても大へんでした。

いよいよははの日とう日になりました。お店の中に入って見ると、じ分のおこづかいで買えるお花がなかなか見つからなくて、けっきょくはお花やさんを三けんも回るようになってしまいました。

わたしが、おこづかいの中から出せる金かくは千五百円ときめていました。そして、お花はピンク色のカーネーションにしようと思っていました。ピンク色はやさしい色でありがとうをつたえられる色だからいつもあかるいおかあさんにあうと思ったからです。

わたしは、足がいたくなりそうならい歩いて、カーネーションではない花にしようかなと思ったりしたけれど、おかあさんのうれしそうなかおを見たかったのでさがすことをあきらめられませんでした。

大切な人へあげるものをえらぶということは、かんたんなことではないんだなと思いました。

おかあさんにお花と手紙をわたす時をドキドキしながらまわっていました。すこしてれながら

「いつもありがとう。ははの日おめでとう。」

と言ってお花をわたすと、にこにこしながらうけとってくれて、おかあさんも

「ありがとう。」

と言ってぎゅうっとだきしめてくれました。はじめて自分で買ったお花をとてもよろこんでいるおかあさんのすがたを見て、今までかんじたことがないくらい、そして、なみだが出るくらいうれしくてかんだうしました。ありがとうという言葉は、人をかんだうさせる力があると思います。わたしもありがとうのかんしゃの言ばでたくさんの人をかんだうさせることができる人になりたいです。

